

令和4年度 生涯スポーツ実践センター事業報告書

生涯スポーツ実践センター長 中垣内 真樹

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

1. 地方自治体と連携して市民の健康・体力データに関するビッグデータを構築するためのデータ収集を行った。
2. 高齢者の運動サロン（スクエアステップ）のフォロー指導を行うとともに、大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業を実施した。

II. 事業報告

1. 研究プロジェクト

- ① 地方自治体と連携して市民の健康・体力データに関するビッグデータを構築するためのデータ収集を以下のとおり行った。
 - ・鹿屋市健康保険課と連携して、鹿屋市の高齢者のフレイルに関するデータを約 600 名収集した。
 - ・垂水市地域包括支援センターと連携して、垂水市の高齢者の体力に関するデータを約 180 名収集した。
 - ・曾於市保険課と連携して、40～64 歳の生活習慣病重症化予防の実態調査、65 歳～の介護予防の実態調査を約 550 名実施した。
 - ・宮崎県木城町と連携して、働き世代の運動教室、高齢者の介護予防教室を実施し、教室前後での体力に関するデータを 58 名収集した。
 - ・大学の所在地域の町内会連合「花岡おこし会」と連携して高齢者の買い物リハビリプログラムを実施し、高齢者の体力に関するデータを約 100 名収集した。
- ② 認知機能維持改善のための上肢運動プログラムを新たに開発した。

2. 社会連携・社会貢献プロジェクト

- ① 高齢者の運動サロン（スクエアステップ）のフォロー指導を以下のとおり実施した。
 - ・鹿屋市高齢福祉課と連携して 77 ヶ所、約 2,800 名に対して実施
 - ・垂水市地域包括支援センターと連携して 16 ヶ所、約 600 名に対して実施
 - ・東串良町地域包括支援センターと連携して 16 ヶ所、約 200 名に対して実施
 - ・龍郷町地域包括支援センターと連携して 2 ヶ所 43 名に対して実施するとともにサロンリーダー研修を 30 名に対して実施
- ② 大学スポーツ協会（UNIVAS）の「大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業」において 4 つのプログラム（①子どもの運動プログラム（Exseed）指導者養成事業、②語るスポーツ人材育成事業、③職域からの運動・スポーツ実践モデル事業、④目指せ鹿屋健康寿命日本一プロジェクト事業）を実施し、延べ 652 名参加した。

3. その他

- ① 生涯スポーツ実践センター協力者会議を令和 4 年 12 月に開催した。
- ② 県民健康プラザ健康増進センターとの共同主催で「住民主体の『通いの場』支援のためのスキルアップ研修会」を令和 5 年 2 月に開催した。
- ③ 生涯スポーツ実践研究年報を発刊した。

Ⅲ. 決算報告

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	254 千円	講師謝金・学生給与等
物件費	497 千円	測定用具、研究年報、消耗品等
その他	685 千円	職員旅費、借損料等
計	1,436 千円	

Ⅳ. その他

1. 発刊物
生涯スポーツ実践研究年報第 21 巻
2. 開催会議状況
生涯スポーツ実践センター協力者会議（令和 4 年 12 月）
生涯スポーツ実践センター会議（令和 4 年 4 月、7 月）
3. 広報活動
センターホームページによる情報発信
Facebook ページによる情報発信
4. センター利用促進策の成果
特記事項なし
5. その他
特記事項なし